

「プロデューサーさん…
私…酔ってる…みたいです…」

「身体が…ほてて…
なんか…変な気分です…」





「……あら……おっぱいさんが
いるのよ……」

「……私まで……
ムラムラしちゃうのよ……」

くわ
くわ
くわ
くわ



おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

A woman with blonde hair, wearing a red dress and blue underwear, is crawling on a wooden floor. She is looking back over her shoulder. There are several beer cans scattered around her. One can is on the floor near her hand, and three others are on the floor to her right. The scene is lit with warm, golden light, suggesting an indoor setting like a bar or a room.

「もう…さつきから私ばかり…」

「プロデューサーさん…
場所を…変えましょう…」

「こんどは私の番です…
さつき…」



「…プロデューサーさん…
今度は…私の番です…
ふふ…」

「いつもなら…
プロデューサーさんに
エッチなことを」

「…されるんですけど
…立場が変わりましたね」



「もう…こんなにも大きく…
ふふふ…挿入したいんですよね?…」

「私に…おまかせ…てくささい…
きもちよくして…
差し上げますから…」









